

- ・特養サクラピアの中で開催予定、送迎付きでお金は徴収しない。
お酒、つまみ持参

(2) 白井市の住んでいる地域課題について意見交換



現在のA圏域、B圏域の地域の弱み強み書き出し、その他1層の委員の方に各地域の弱み、強みをご意見いただいた。

A圏域

	第1小学校区	第2小学校区	桜台小学校区
強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に（介護、医療）施設が多い ・はしそろピック*交流 ・多世代交流楽しい <p>*箸でそろばんの珠を移す競技</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・困っていないと言う人が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・お元気まもり事業を行っている ・ラジオ体操には色々な世代の参加がある ・利便性がある、買物難民が少ない ・自治会の加入率が高い ・地域に予防活動として見守りや（交流）イベントが必要 ・そば打ちのイベント団地内の70歳以上にふるまうと参加してくれる
弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で3番目に65歳以上人口が多い自治会がある ・勤め人は退職後、そっと地域内で散歩するくらい ・地域でのイベントで開催する場所、機会実行してくれる人の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題が見えてこない ・行政退職後の行事参加や担い手が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士の交流が少ない ・旧地区、新地区の交流差がある ・日頃の付き合い、顔なじみが大事 ・必要な生活支援サービスがある事が必要

<ul style="list-style-type: none"> • おかずのやり取りをする関係性も減少 • 1人世帯増加 • 案内状（イベント）を断る人がいる 		<ul style="list-style-type: none"> • お酒の席で次役員を探す • 地域イベントで参加可能なものを周知していくことが必要
---	--	---

	南山小学校区	池の上小学校区
強 み	<ul style="list-style-type: none"> • 買い物支援の試行（を行っている） • 自治会サロンでの交流会をきっかけに管理組合を組織し 体操（楽トレ）男性の参加者が多い • 防災会が始まった • 自治会役員は2年任期に変更した 	<ul style="list-style-type: none"> • お元気まもり事業（を行っている） • 防災との連動した活動がある • 堀込での楽トレを毎週1回行っている • 若い世代も増加してきた • 防災で若い世代が参加し、担い手が代わってきている
弱 み		<ul style="list-style-type: none"> • 自治会は、1年で総入れ替えとなるため 不要な事をせず、次の人に渡すことになってしまう

B 圏域

	七次台小学校区	清水口小学校区
強 み	<ul style="list-style-type: none"> • 井戸端カフェ（サロン）交流の場がある • 困っていない人が多い 	<ul style="list-style-type: none"> • 梨の実ひろば（サロン） • あいのねサロン（巡回型）など交流の場がある • 長く暮らした仲間がいる
弱 み	<ul style="list-style-type: none"> • スーパーが無い 	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢になると力仕事が出来ない、自治会役員も難しくなる • イベントを主催する人が減った

	大山口小学校区	第三小学校区
強 み	<ul style="list-style-type: none"> • NPO 法人コラボしろいの拠点があり、送迎サービスを行っている • 地区社協を中心に学校と地域が繋がっている • 子どもと高齢者の交流が多い • 子ども、若い世帯、高齢者のバランスが良い • 歩いて行ける範囲にいろいろなものがある • PTA や中学校ボランティア部の協力を得るとともに、地区社協も PTA 総会に出席するなど、お互い様の関係がある • 地区社協が強い、関係機関と繋がっている 	<ul style="list-style-type: none"> • 富士ひだまりサロン（交流）、ふじ元気ひろば（多世代交流）などの場がある • 子ども食堂（孤食防止）の活動がある

	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協にボランティア部、イベント専門会があり、ボランティア継続者が多い 	
弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で2番目に65歳以上人口が多い自治会がある ・身近な人に支援されるのを嫌な人もいる ・自治会で把握していることが多い ・空き家が増えている ・ふれあい会議に参加する人がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で一番65歳以上人口が多い自治会がある ・ひとり親や生活課題が多い世帯が目立つ

その他の意見

<第1層協議体等の方針・方向性について>

- ・テーマごとに整理してはどうか？防災・生活支援、見守り・交流参加など
- ・サポートされる人を減らすことも必要ではないか（他市の例により）
- ・重要視するものは何か？決めた方がわかりやすい
- ・第1層協議体を評価できるようにしたい
- ・どのような実施体制で代1層協議体や第2層協議体（ふれあい会議）を展開フォロー（評価）が明確になっているといい
- ・他市で3年ごとにどこまでできたか評価できるようにしていただくため同様にしたい

<行政・活動団体に期待すること>

- ・地域で活動しているそれぞれの役割が明確ではないのではないか
- ・一つの活動が刺激となって広がる事がある⇔お互い知り合うことが大切
- ・福祉計画との関連を整理してほしい
- ・街づくり、防災、自治会担当などあっちこっちバラバラ声がかかる。何をして良いか分からず混乱する、1本化できないか
- ・大きな柱が地域で見えない。重点が決まっていた方が良い
- ・個々の活動をどうつなげるか？
- ・防災、要支援との関係で要援護者の情報共有を図る必要はないか

<検討の参考となるデータについて>

- ・協力者がどのくらいあるか分かった方が良い
- ・地域ごとの数値データ（高齢化率、介護サービス利用状況等）が必要
- ・参加しない人をどうするか考えるためどれだけいるかがわかった方が良い

<情報共有について>

- ・情報共有が少ない
- ・大山口の活動など他地区やしないで知らない活動がある
- ・其々の地区社協の活動内容が違う
- ・民生委員からの地域のデータ（個人に関すること）を共有する方法が必要があるのではないか

<その他>

- ・同じ地域に住んでいる人からのサポートには、消極的
- ・今の課題対策として出来ている事もある（例示：しろい元気村）
- ・自治会長2年にしてほしい
- ・知ってる人にはサポート（生活支援者）として家に来ないで欲しいという人もいる

各地域の強み、弱みについて意見を出すより白井市で何か一つ何をするのか決めた方が良いのでは等意見があった。

色々やっているものを、進めながら将来望む方向に進めていくのか重点的に行うものを決めて、その目標に対してどう進めていくのかまたは、地域で行っている事を総合事業に結び付けていく等

委員の皆さんから色々なご意見があり、まずは委員の皆さんへ必要なデータを提示し、第2層での報告を受け議論をしていくことが望ましいという話し合いとなった。

(3) 第2層協議体への協議事項の提案について

第1層での議論の方向性が決まり次第提案していくこととなった。

6. その他

地域課題を明確化するために様々な意見が出ました。

次回はこれらの意見を整理し第1層協議体として考えを検討していきます。

次回開催2月23日（金）午前10時から正午